

児湯地域の普及活動(普及活動月報)

令和7年12月 児湯農林振興局

(児湯農業改良普及センター)

目次

I	管内農業・農村の主な動き	(P2)
	1) 農業経営指導士と農政水産部の意見交換会が開催【県域】	
	2) 子牛セリ市【全域】	
II	主な普及指導活動等の取組	
	1 プロジェクト(総合、専門)に関する普及活動	(P3~6)
	1) 農業経営者サポート事業による相談会を実施【川南町】	
	2) 加工用ホウレンソウの収穫が始まりました【全域】	
	3) 新田西地区ブロッコリーの収穫が始まりました【新富町】	
	4) 加工用・原料用かんしょにおける挿し苗育苗技術の検討【高鍋町】	
	5) 西都・児湯地区大規模水田経営体先進地視察研修実施【西都市、高鍋町】	
	6) JAみやざき児湯地区Dプロピーマン現地検討会【新富町】	
	7) 実需者によるゆず収穫作業体制の試行【西米良村】	
	8) 鹿児島県視察研修【西米良村】	
	9) 茶労働力確保意見交換会【全域】	
	10) JAみやざき西都地区本部茶部会、秋番茶実績検討会【西都市】	
	11) JAみやざき児湯地区本部茶部会全体研修会【新富町、高鍋町、木城町】	
	12) 肉用牛繁殖部門基礎学修会の開催【全域】	
	13) JAみやざき尾鈴地区本部いちご部会全体会に参加【川南町、都農町】	
	14) 尾鈴ぶどう部会総会での実績報告【都農町、川南町】	
	2 その他の普及活動	(P7~8)
	1) 木城町の有機栽培かぼちゃ「南九ブラックボール」を使った商品開発(みやざきLFPの取組)【木城町】	
	2) JAみやざき尾鈴地区本部ミニトマト部会現地検討会に参加【川南町、都農町】	
	3) JAみやざき尾鈴地区本部ピーマン部会現地検討会に参加【川南町】	
	4) スイートピー全体研修会の実施【川南町】	
	5) ベビーハنزの品質向上展示ほの設置【西都市】	
III	参考	(P8)
	12月の気象(宮崎气象台:西都市)	

I 管内農業・農村の主な動き

1) 農業経営指導士と農政水産部の意見交換会が開催【県域】

22日、県企業局の県電ホールにおいて、農業経営指導士と農政水産部の意見交換会が開催され、指導士16名、県幹部15名、本課・普及職員等あわせて46名（一部リモート）が参加しました。地区代表の指導士13名から地域の課題等について発言を行い、それに対して幹部から回答を行う形で進められました。地域の課題以外にも、指導士の意義に関する発言もあり、指導士の活動及び支援に関する検討のきっかけになったと思われます。今後も指導士会と普及職員の連携を強化し、地域農業の振興に取り組んでいきます。



【意見交換会場の様子】

2) 子牛セリ市【全域】

8、9日に子牛セリ市が開催されました。セリ市研修会では、経営の見直し方や、経営計画の立て方を説明しました。子牛価格は雌766千円、去勢845千円、平均807千円でした。

Ⅱ 主な普及指導活動等の取組

1 プロジェクト(総合、専門)に関する普及活動

1) 農業経営者サポート事業による相談会を実施【川南町】

26日に川南町の生産者に対し、専門家（税理士）による税務及び経営面に関する相談会を行いました。

相談会において、節税対策、法人化等に関する助言があり、相談者は経営改善に向けて行動していく意向を示されました。今後も関係機関と連携しながら伴走支援を行っていきます。

2) 加工用ハウレンソウの収穫が始まりました【全域】

加工用ハウレンソウの収穫が12月上旬から始まりました。9月下旬～10月上旬にかけてハスモンヨトウによる食害により収穫期がやや遅れましたが、作業は順調に進んでいます。

今後も定点調査や、栽培講習会、検討会等を実施し関係機関と連携して安定生産を目指してまいります。



【収穫の様子】

3) 新田西地区ブロッコリーの収穫が始まりました【新富町】

新富町新田西地区では、ほ場整備後に導入する水田裏作の高収益作物として検討を進めているブロッコリーの収穫作業が12月中旬から始まりました。

今作は定植後の高温や11月の乾燥等により生育が遅れ、収穫開始は予定より半月ほど遅くなりましたが、病害虫の被害等もなく、充実したブロッコリーが育っています。

収穫作業は1月中旬頃まで続く見込みです。今期は肥料試験や農薬試験を実施し、地域に適した栽培管理の確立に取り組んでいます。今後、JAや役場などの関係機関と連携して生産実績や課題を整理し、次年度に向けた取組を検討する予定です。



【収穫の様子】

4) 加工用・原料用かんしょにおける挿し苗育苗技術の検討【高鍋町】

12月上旬から高鍋町のかんしょ生産者の育苗ハウスにおいて茎頂培養苗（バイオ苗）から増殖する挿し苗増殖技術の実証を行っています。県内のかんしょでは、自家種芋を伏せ込み育苗する方法が主流となっていますが、病害に感染した種芋により次作への病気の広がりが懸念されるため、挿し苗増殖技術による健全苗の確保を目指しています。

今後は、挿し苗増殖における増殖率や採苗本数について種芋増殖と比較して調査を行っていきます。



【調査の様子】

5) 西都・児湯地区大規模水田経営体先進地視察研修実施【西都市、高鍋町】

11～12日に西都市及び高鍋町の大規模水田経営体と愛知県に先進地視察研修を行いました。

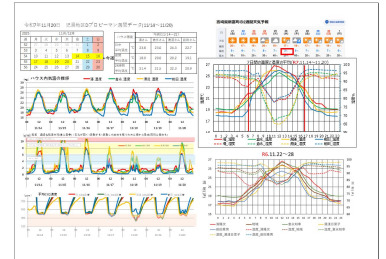
愛知県は乾田直播栽培面積の導入が進んでおり、その中でも愛知県農試が開発した「不耕起V溝播種」は非常に短時間で大面積を処理できる技術です。研修では、当県では導入できる土壌条件に限られますが、応用できる技術であると感じました。

また、豊田市で経営を展開する「(株)中甲」では集落営農等農業生産法人で永続的な経営を行うための手法について学ぶことができました。

今後も地域の担い手の育成を進めるため、このような研修を企画していきたいと思えます。

6) JAみやざき児湯地区Dプロピーマン現地検討会【新富町】

16日児湯地区ピーマン専門部のDプロ参加者の現地検討会を行い、生産者4名、関係機関2名が参加しました。直近1週間の4名の環境データおよび生育調査結果を比較した資料を見ながら、現地圃場の状態を確認し、意見交換を行いました。生産者は直近1週間の環境データおよび草勢や着花・着果を見ながら温度管理などの改善に取り組まれています。普及センターからは厳寒期～春先に向けた日射量を考慮したかん水管理に係るチェックポイントを説明しました。引き続き、環境データや生育調査の結果をフィードバックしながら、環境データを活用した栽培管理を支援していきます。



【毎週の週間レポートの一部】

7) 実需者によるゆず収穫作業体制の試行【西米良村】

今年度から実需者である宮崎県農協果汁(株)と連携した作業体制を検討しており、12月4日、5日に竹原ゆず団地において収穫作業の試行を行いました。本取組は、ゆず果汁が不足している加工事業者と、収穫にかかる労力が不足している村内ゆず農家をマッチングさせ、これまで収穫されずに残っていたゆずを少しでも収入に変えることができないかと考え、今年から検討を始めたものです。また、早期にゆずの収穫が完了し、隔年結果の軽減による収量安定効果も見込まれます。今回は農協果汁、村、県の職員約10名体制で作業を行い、2日間で約2トンのゆずを収穫しました。

今回の試行の結果を受け、課題や改善点について関係者で検討し、今後の体制構築に繋げていきます。



【収穫作業の様子】

8) 鹿児島県視察研修【西米良村】

16日、17日に村内生産者、役場、駐在等の10名で鹿児島県曾於市及び枕崎市に視察に行きました。

曾於市は、加工を中心としたゆず産地が形成されており、産地形成に向けたこれまでの取組やこれからの展望等について学びました。

枕崎市は、西米良村で今年から取り組んでいる「最適土地利用総合対策事業」に先進的に取り組んでおり、遊休農地を活用した蜜源栽培等の取組について学びました。

研修の中でそれぞれの工夫した点や苦労した点を聞くことができ、活発な意見交換も行われ、有意義な視察研修となりました。



【視察研修の様子】

9) 茶労働力確保意見交換会【全域】

5日、管内の一部茶生産者を集め、茶の労働力確保について意見交換を行いました。

管内の現状を共有し、生産者からの意見を踏まえて、今後の労働力確保に向けた方針を協議し、方向性を決めました。



【意見交換会の様子】

10) JAみやざき西都地区本部茶部会、秋番茶実績検討会【西都市】

18日、西都地区本部茶部会員の生産者、関係機関が集まり、秋冬番茶の実績検討会が行われました。

西都地区本部からは、秋番茶の実績報告、茶の情勢報告がありました。

児湯普及センターからは、今年実施した展示ほの試験結果、寒害被害について資料を用いて説明しました。



【会議の様子】

11) JAみやざき児湯地区本部茶部会全体研修会【新富町、高鍋町、木城町】

19日、児湯地区本部茶部会員の生産者、関係機関が集まり、秋冬番茶の実績検討を含めた全体研修会が行われました。

児湯地区本部からは、販売実績や茶情勢について報告がありました。

児湯普及センターからは、今年実施した展示ほの試験結果、寒害被害について資料を用いて説明しました。

12) 肉用牛繁殖部門基礎学修会の開催【全域】

23日に児湯農業改良普及センター研修室で、肉用牛繁殖部門基礎学修会を開催しました。参加者は12名でした。講師に宮崎県家畜改良事業団の渕部長をお招きし、子牛価格の推移や、子牛の発育に関する分析結果、種雄牛の紹介等、様々な観点で説明していただきました。

13) JAみやざき尾鈴地区本部いちご部会全体会に参加【川南町、都農町】

8日に尾鈴地区本部いちご部会全体会が開催されました。いちご部会員25名と、JA指導員、共済組合児湯センター、普及センターが参加しました。

共済組合児湯センターからは、収入保険についての説明がありました。普及センターからは12月のいちごの栽培管理について勉強会を行いました。生産者からは、かん水や葉面散布、湿度確保についての質問等があげられ、有意義な勉強会になりました。

今後も勉強会等に参加し、いちご部会を支援していきます。



【全体会の様子】

14) 尾鈴ぶどう部会総会での実績報告【都農町、川南町】

17日に尾鈴ぶどう部会の通常総会が行われ、来賓として普及センターから2名、振興局から1名が参加しました。総会後に研修時間を設けてもらい、普及センターからは今年度実施したクイーンニーナの着色試験展示およびロボット草刈機クロノスを題材とした省力化研修会の結果報告を共有しました。また、労働力確保についても昨年集計したアンケートをもとに今後の取組について提案を行いました。今後も課題となっている労働力確保や品質向上に向けて支援を行っていきます。



【総会の様子】

2 その他の普及活動

1) 木城町の有機栽培かぼちゃ「南九ブラックボール」を使った商品開発(みやざきLFPの取組)【木城町】

木城町では、木城オーガニックタウン推進協議会を中心に、有機農業の推進のための様々な活動が展開されていますが、12月からはみやざきLFP事業を活用し、有機栽培で作られた「南九ブラックボール（南九州大学が黒皮かぼちゃを親として品種改良）」を使った商品開発に取り組み始めています。

6日に、開発メンバーとして、町内外から公募した学生（小6～大学生）3名、協力企業4社による初めてのミーティングが行われ、「お世話になった人や大切な人に贈りたい商品」をコンセプトとして、「スイーツ」の開発を行っていくことで合意しました。

13日には、2回目となるミーティングが行われ、具体的な商品の候補選定が行われました。

今後も定期的にミーティングを開催し、商品開発を進めていく予定です。



【商品開発ミーティングの様子】

2) JAみやざき尾鈴地区本部ミニトマト部会現地検討会に参加【川南町、都農町】

15日に尾鈴地区本部ミニトマト部会（立野・川南支部）現地検討会が開催されました。生産者6名と、JA指導員、普及センターが参加し、5戸のは場を巡回しました。

生産者同士や指導員も交えて、理想の草勢に近づけるための温湿度管理や病害防除の手法について、活発な意見交換や助言がなされ、有意義な検討会になりました。今後も現地検討会等に参加し、栽培技術向上の支援をしていきます。

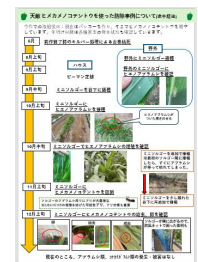


【現地検討会の様子】

3) JAみやざき尾鈴地区本部ピーマン部会現地検討会に参加【川南町】

18日に尾鈴地区本部ピーマン部会現地検討会が開催されました。生産者約30名と、JA指導員、普及センターが参加し、4戸のは場を巡回しました。

普及センターからはヒメカメノコテントウを用いたアブラムシ、カイガラムシ対策の管内での取組状況の情報提供を行いました。本部会でも春先に向けてヒメカメノコテントウの導入を検討されていることから、引き続き技術支援を図っていきます。



【ヒメカメノコテントウの試験状況】

4) スイートピー全体研修会の実施【川南町】

18日にJAみやざき尾鈴地区本部において、県内全域のスイートピー生産者や関係機関を参集し、スイートピーの全体研修会が実施されました。川南町のスイートピーは場においては、本年試験を実施しているハウス被覆資材への「遮熱剤」の塗布効果について県下の生産者から多数の質問がなされました。

本地区のスイートピー生産者も他地区の生産者と意見交換ができて、大変参考になったようです。



【現地検討会の様子】

5) ベビーハnzの品質向上展示ほの設置【西都市】

22日に西都市三財地区において、ベビーハnzの品質向上を目的とした展示ほを設置しました。ベビーハnzは出荷時の茎の硬さが品質の重要なポイントとなるため、今回はケイ酸を含む資材「ケイカル」を散布し、今後の品質について調査を実施していく予定です。



【ベビーハnz栽培状況】

III 参考

12月の気象(宮崎気象台:西都市)

	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
上旬	9.4	9.2	10.0	0.0	0.0	32.9	68.3	83.9	54.7
中旬	9.7	7.0	8.4	22.5	0.0	18.6	53.6	67.0	57.1
下旬	8.9	7.1	7.7	1.5	0.5	16.6	68.5	84.3	65.7
月	9.3	7.8	8.7	24.0	0.5	68.1	190.4	235.2	177.5

農林水産業者、県民の皆さまの「知りたい！伝えたい！相談したい！」にお応えします！



宮崎県 農林水産業ナビ

ひなたMAFiN

Miyazaki Agriculture Forestry Fisheries Navigation

農林水産業に関する

- 多様な情報をホームページでわかりやすく提供！
- タイムリーな情報をSNSなどを活用して発信！
- 皆さまの思いや意見を集約！



ひなたMAFiN

検索

メルマガ登録はこちら